



OnTime[®] GROUP CALENDAR

for Domino

インストールマニュアル (Ver.11.0.0-)
インストーラー利用インストール手順

OnTime Group Calendar Direct Shop

2023/05/29



目次

1. インストールの準備	
1. インストールで追加や設定される内容について	p.3
2. OnTime用にサーバー文書の設定を確認	p.4
3. メールサーバーのサーバー文書の設定を確認	p.6
4. ダウンロードしたプログラムのzipを展開します	p.7
2. インストール作業	
1. OnTime Installer.nsf を開きます	p.11
2. OnTime Installer を日本語に切り替えます	p.12
3. OnTime ファイルの配置フォルダを指定します	p.13
4. OnTime 利用ユーザーを指定します	p.14
5. OnTime のインストールを実行します	p.15
6. OnTime インストール後の画面を確認します	p.16
3. アクティベーション（レベル2や製品版のみ）	
1. 製品をアクティベーションします	p.17
4. 確認	
1. ワークスペースにアイコンが表示されます	p.22
2. OnTimeクライアントを開きます	p.23
3. その他の設定	p.24

注意
OnTimeの設定作業
にはNotes 10以上の
クライアントが
必要です。
OnTime Desktop
クライアントは
Notes 9.0.1 FP10以上で
ご利用いただけます。

1.1 インストールで追加や設定される内容について



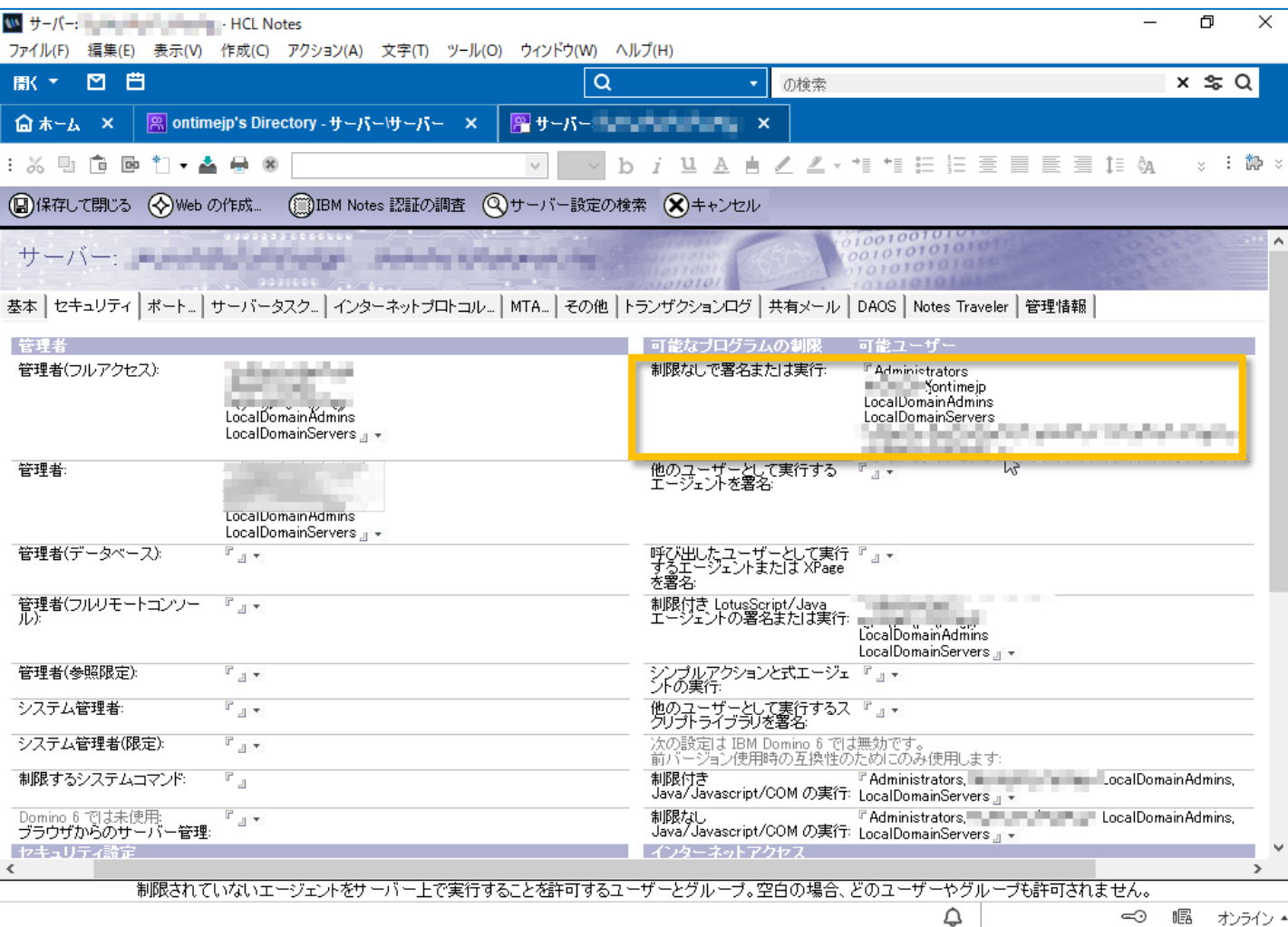
インストールに必要な手順は以下の通り
(本マニュアルで説明しています)

1. ノートクライアントのDataフォルダにTempフォルダを作成。
2. ダウンロードしたzipから展開して9つのテンプレート(ntfファイル)と1つのインストーラアプリ(nsfファイル)を作成したTempフォルダにファイルコピー。
3. サーバー管理権限を持つユーザーでノートクライアントを開く。
4. コピーしたインストーラアプリを開いて右上の日本国旗をクリックして日本語画面に変更。
5. インストールするサーバー、フォルダ、同期対象のユーザーや会議を選択などを行い、最後に「インストール」を実行する。
6. 実行途中でタスク起動やhttpの再起動が行われて完了。

サーバーへ反映される構成は以下の通り
(本マニュアルでサーバーで更新される内容)

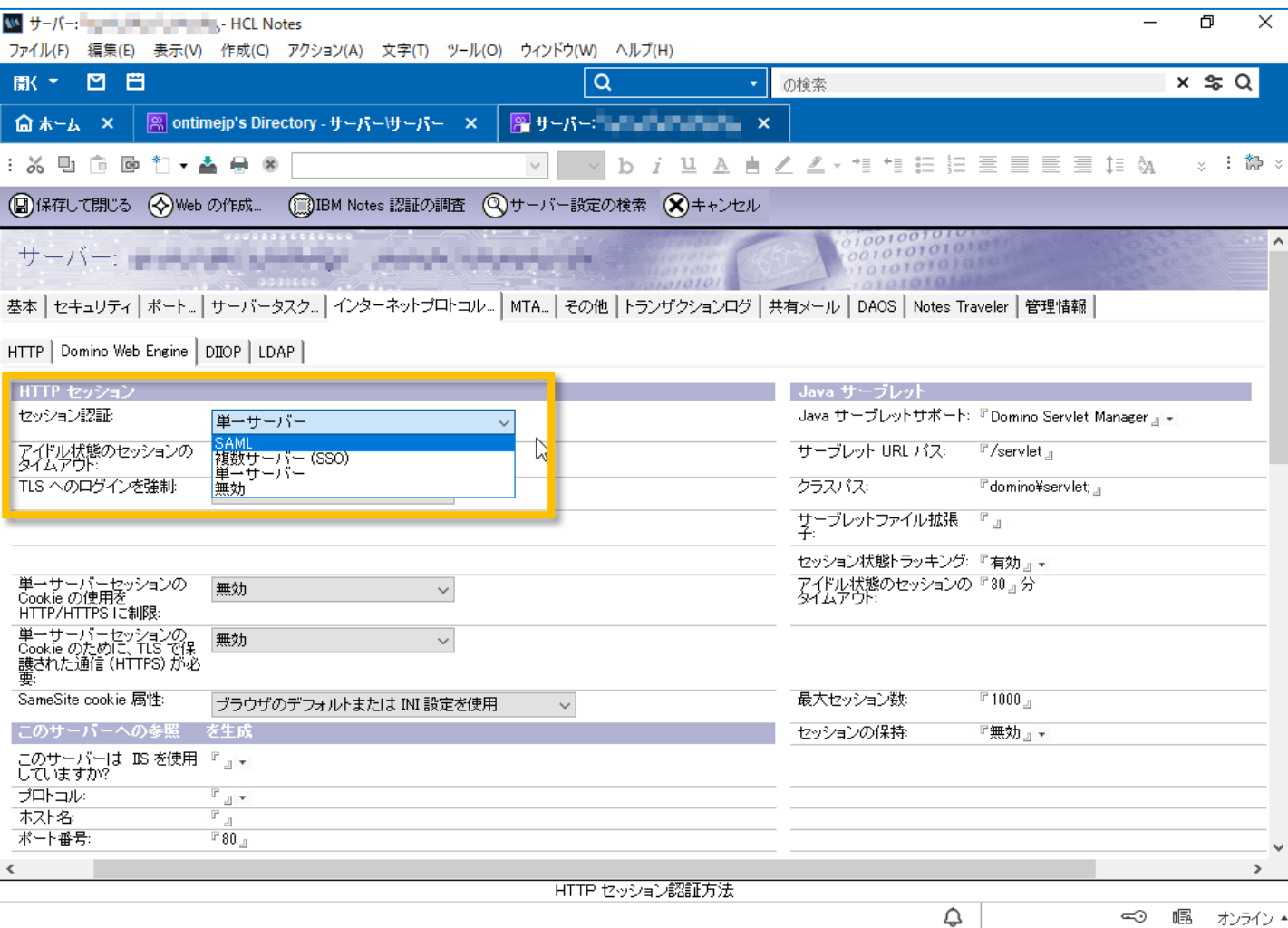
- DominoサーバーのDataフォルダにOnTimeフォルダを作成。
- 9つのアプリケーションテンプレート(2023年5月時点、機能追加で増えることもあります)がコピー作成。
- テンプレートから5つの必要なアプリ(データベース、2023年5月時点)がテンプレートから作成。
- 1個のサーブレット(OnTmeGC.jar、クライアント接続用)がOnTimeフォルダにコピー。
- サーブレットが利用する2つのNotoSansフォントがOnTimeフォルダにコピー。
- 1個のタスク(nOnTimeGC.exe、メールDB同期用)がDominoプログラムフォルダにコピー。
- サーバー文書、servlet.propertiesファイル、notes.iniファイル(ServerTasks行だけ)に必要な設定が追加。

1.2 OnTime用にサーバー文書の設定を確認 1



- OnTimeが稼働するDominoサーバーのサーバー文書で【セキュリティ】タブを開きます。
- 「制限なしで署名または実行」にサーバー自身の名前が登録されているか確認してください。未指定の場合は登録します。
- OnTimeは各種コマンドをサーバー権限で実行するからです。
- この設定はOnTimeを実行させるサーバーのサーバー文書の設定です。メールサーバーについては次章を確認ください。

1.2 OnTime用にサーバー文書の設定を確認 2



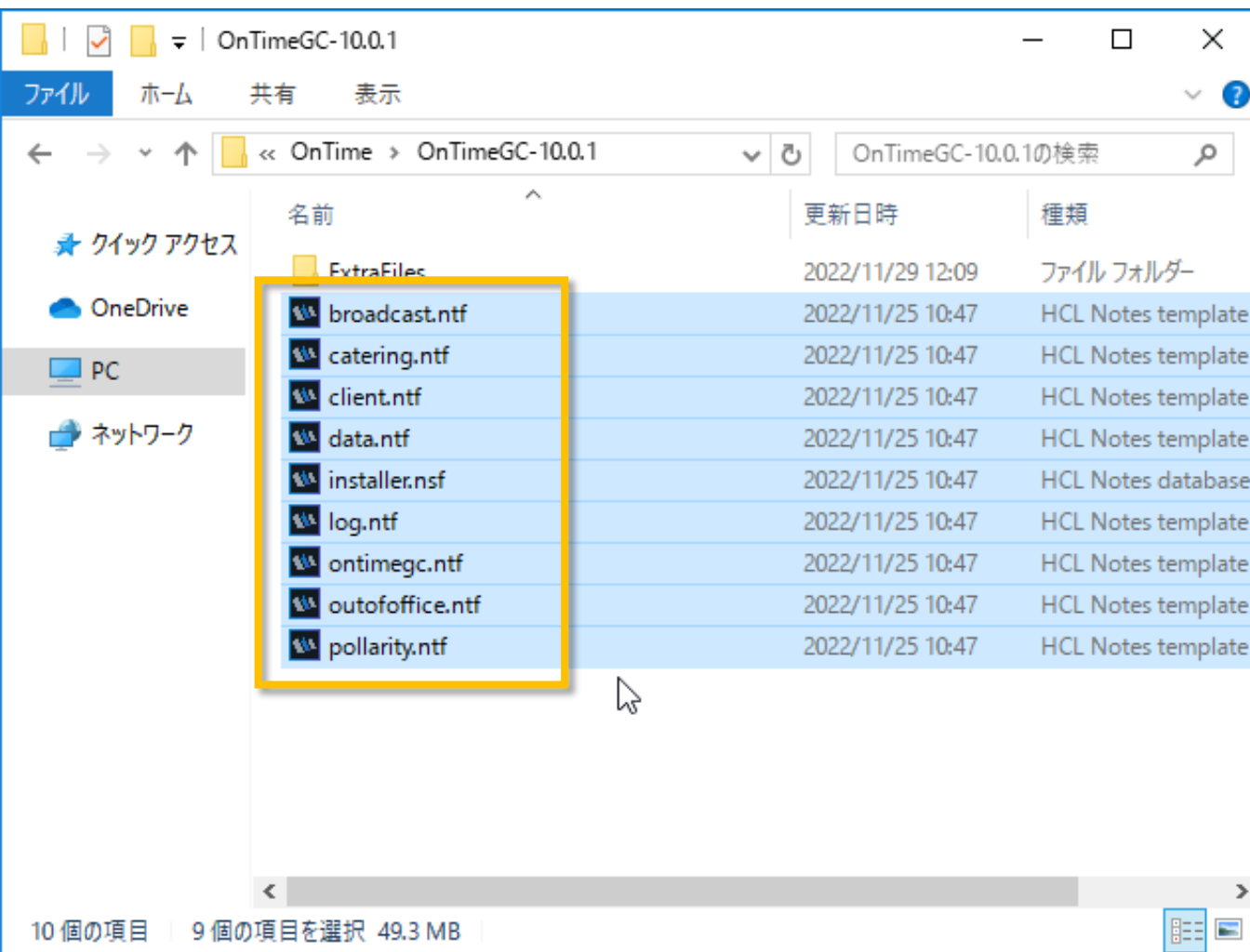
- OnTimeが稼働するDominoサーバーのサーバー文書で【インターネットプロトコル】タブを開きます。
- 更に【Domino Web Engine】タブを開きます。
- セッション認証が有効か確認してください。無効の場合は、自社に適切な設定にしてください。組織で初めて設定する場合は「単一サーバー」で問題ありません。
- OnTimeはhttpを利用します。そしてセキュリティの観点からベーシック認証はサポートしていないからです。

1.3 メールサーバーのサーバー文書の設定を確認



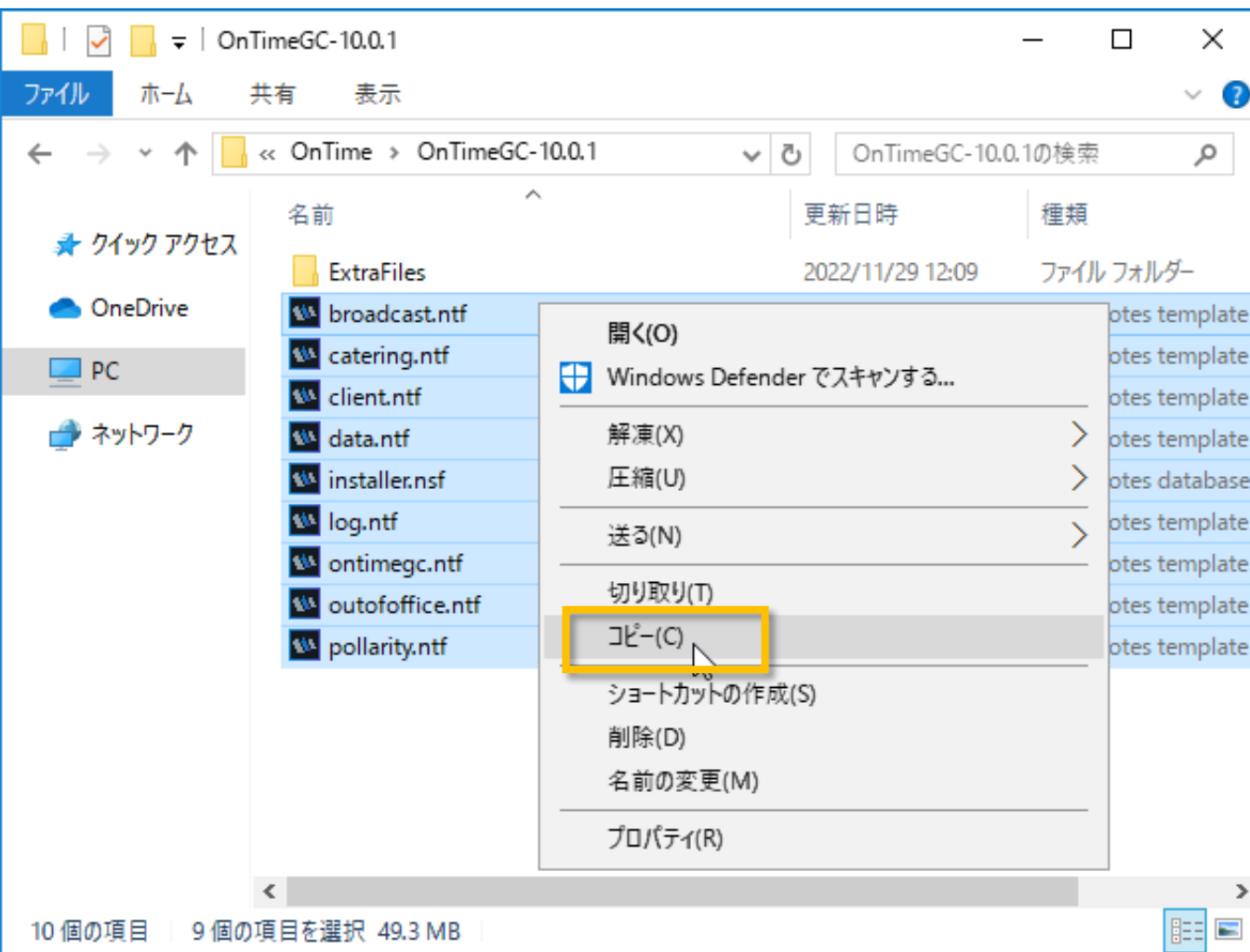
- OnTimeサーバーが参照するメールサーバーが他にも存在する場合はこのページの設定が必要です。メールサーバーがOnTimeサーバーと別に存在しなければこのページの設定は必要ありません。
- メールデータベースがあるメールサーバーはOnTimeが稼働するサーバーからアクセスがあります。OnTimeサーバーからアクセス出来るよう信頼する設定が必要です。
- 参照される側のメールDBがあるメールサーバーのサーバー文書で【セキュリティ】タブを開きます。
- 「信頼できるサーバー」にOnTimeサーバーを指定してください。

1.4 ダウンロードしたプログラムのzipを展開します 1



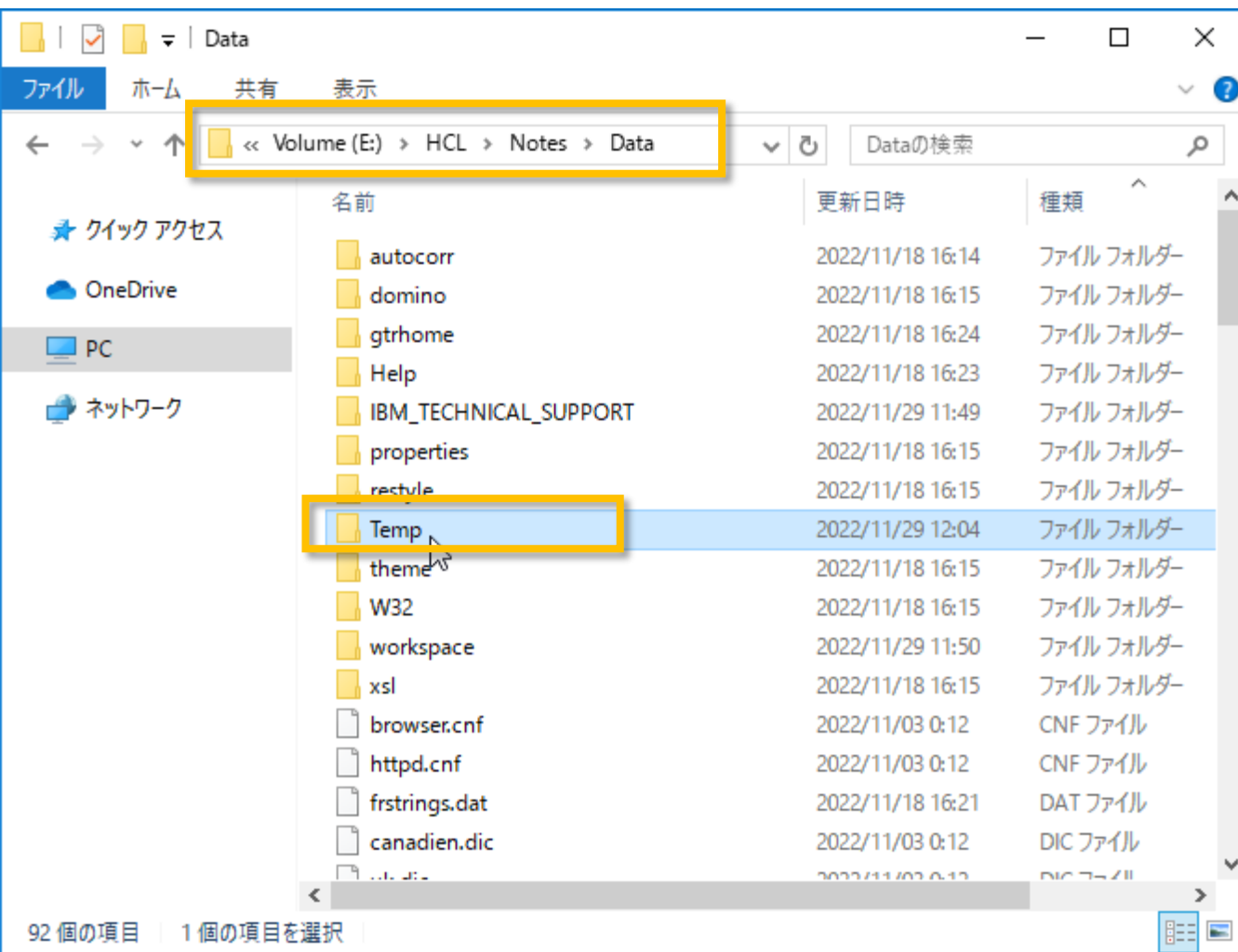
- Zipファイルを展開すると各種テンプレートファイルとInstaller.nsfとExtraFilesフォルダが解凍されます
- ExtraFilesフォルダは通常使いません
- （テンプレートの数は変更される場合があります。）

1.4 ダウンロードしたプログラムのzipを展開します 2



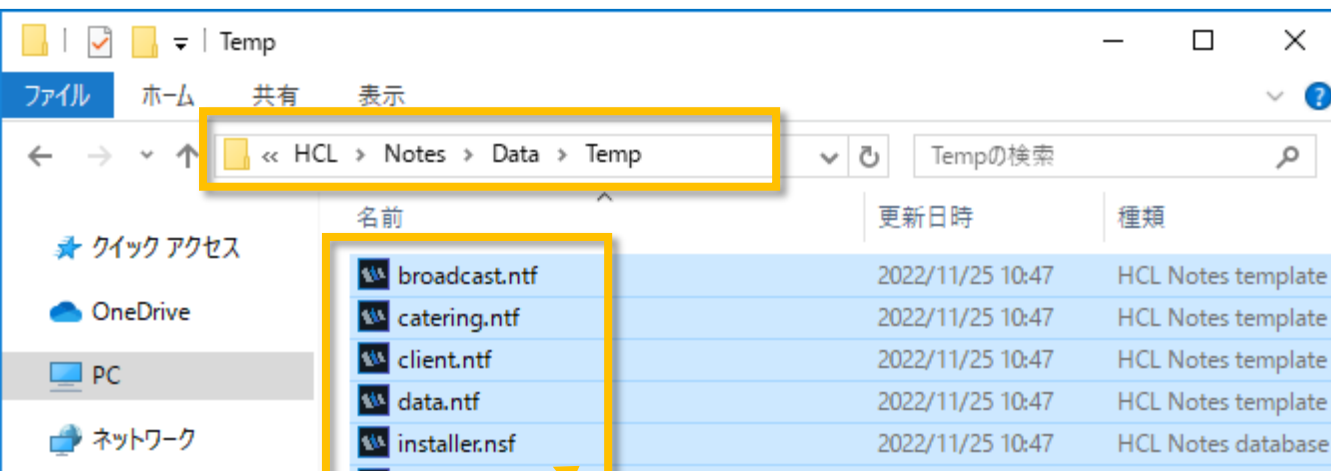
- ExtraFilesフォルダを除き、全てのファイルを選択してコピーします

1.4 ダウンロードしたプログラムのzipを展開します 3



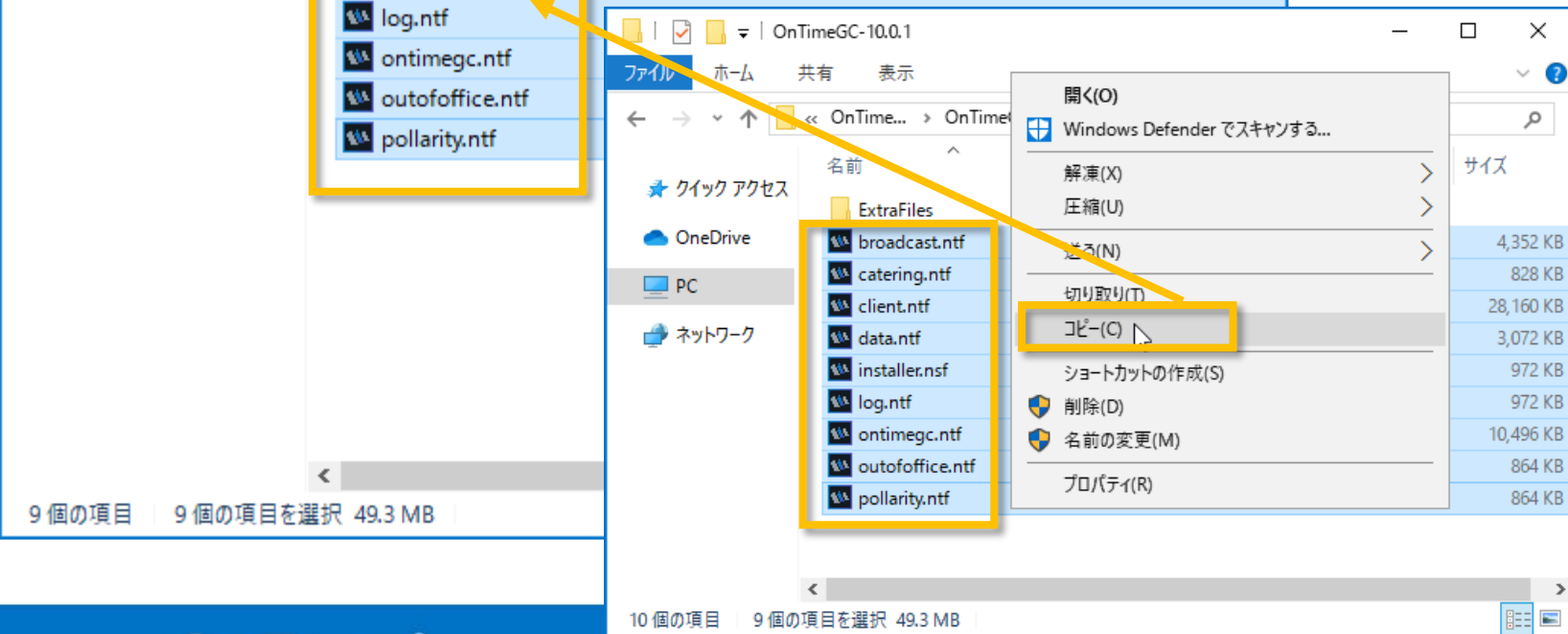
- 作業端末のNotesクライアントのNotesのDataフォルダ配下に、Tempフォルダを作成してください
(フォルダ名は任意です)
既にOnTime用に作成済みの場合はそのフォルダを利用できます

1.4 ダウンロードしたプログラムのzipを展開します 4

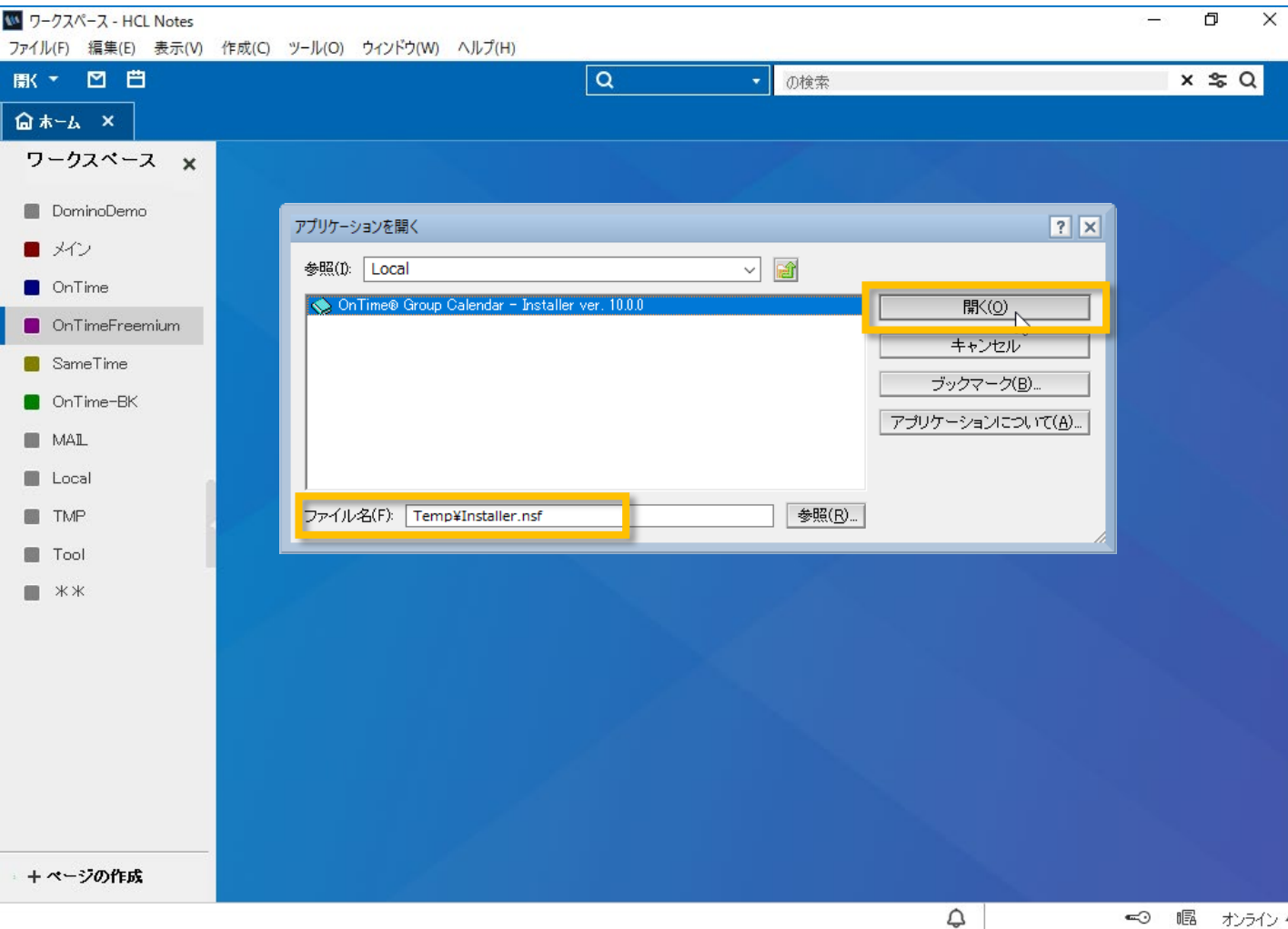


- 作業端末に作成したTempフォルダ内に新Verのファイルを配置してください

※二回目以降の実施時、既に以前のファイルが存在する場合は先に削除しておいてください。



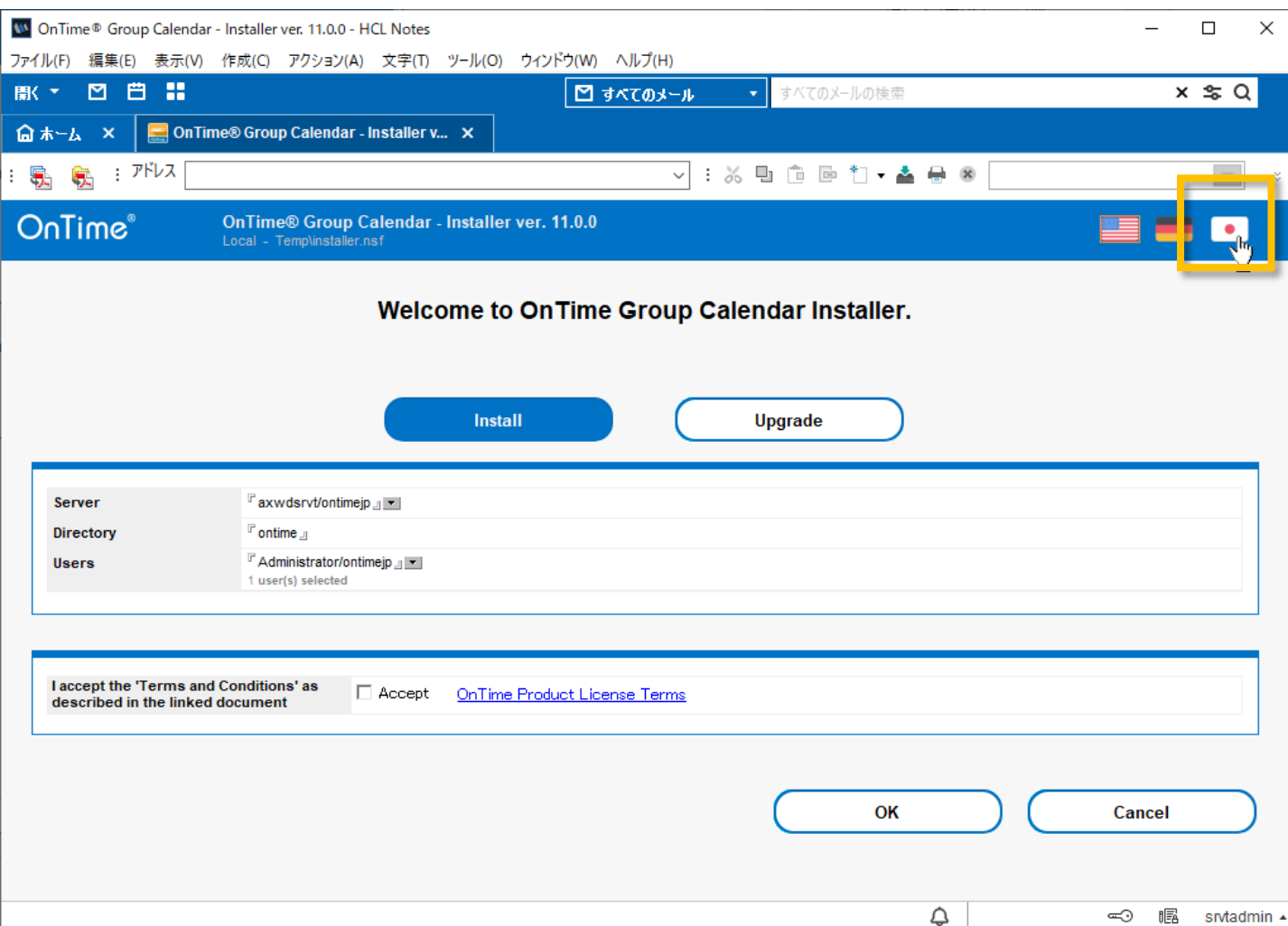
2.1 OnTime Installer.nsfを開きます



- 管理者権限のあるユーザーで先ほどの端末のNotesクライアントにログインします。
- Notesクライアントのワークスペースで、先ほど配置したInstaller.nsfを開きます。

注意
OnTimeの設定作業にはNotes 10以上のクライアントが必要です。
OnTime DesktopクライアントはNotes 9.0.1 FP10以上でご利用いただけます。

2.2 OnTime Installer を日本語に切り替えます



- Installer.nsf を開くと英語表記で表示されます。
- 画面右上にある日本アイコンをクリックすると、日本語表記に切り替わります。

2.3 OnTime ファイルの配置フォルダを指定します

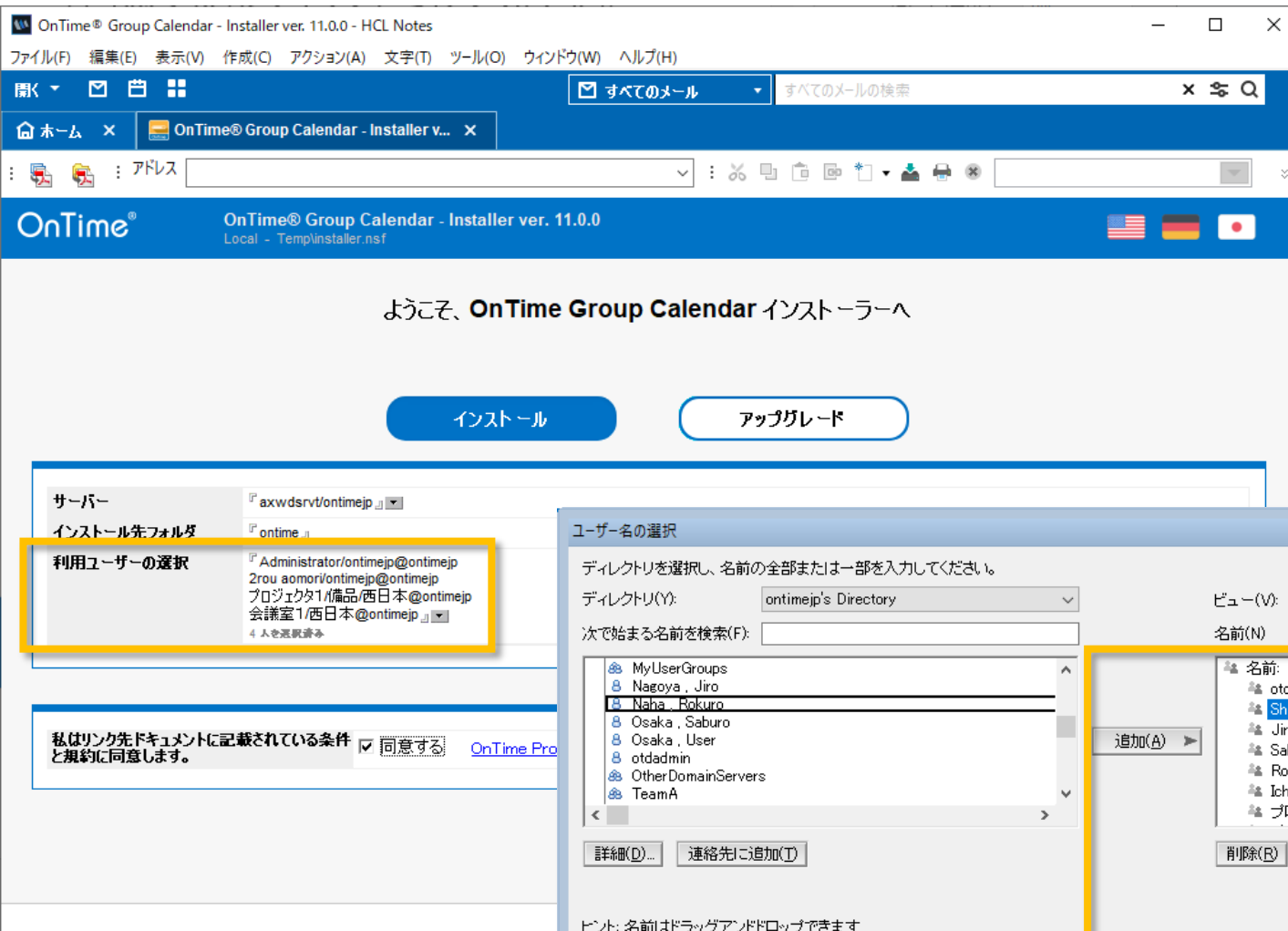


- 「インストール」と「アップグレード」で「インストール」が選択されていることを確認してください。
- 「インストール先フォルダ」にインストールするサーバー名を「インストール先フォルダ」の欄に「OnTime」を指定してください。

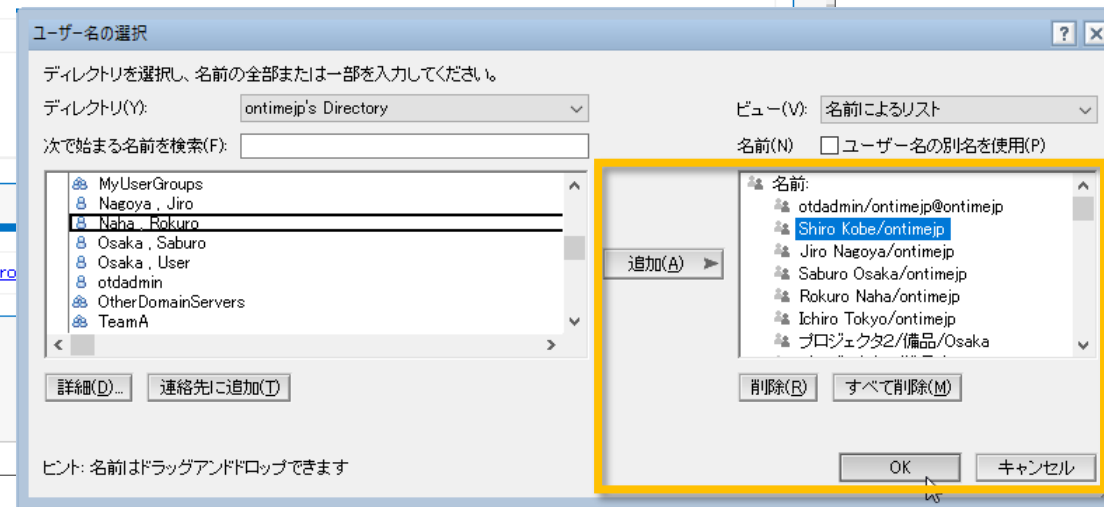
【注意】

アップグレードの場合は「インストール」を絶対に選択しないでください。既存の設定を利用して新規にインストールが行われてしまいます。アップグレード用のマニュアルは別途準備していますので、そちらを参照ください。

2.4 OnTime 利用ユーザーを指定します



- 「利用ユーザーの選択」の欄に、OnTimeの利用ユーザーを選択して指定してください。
- ユーザー名の別名は使用しないでください。

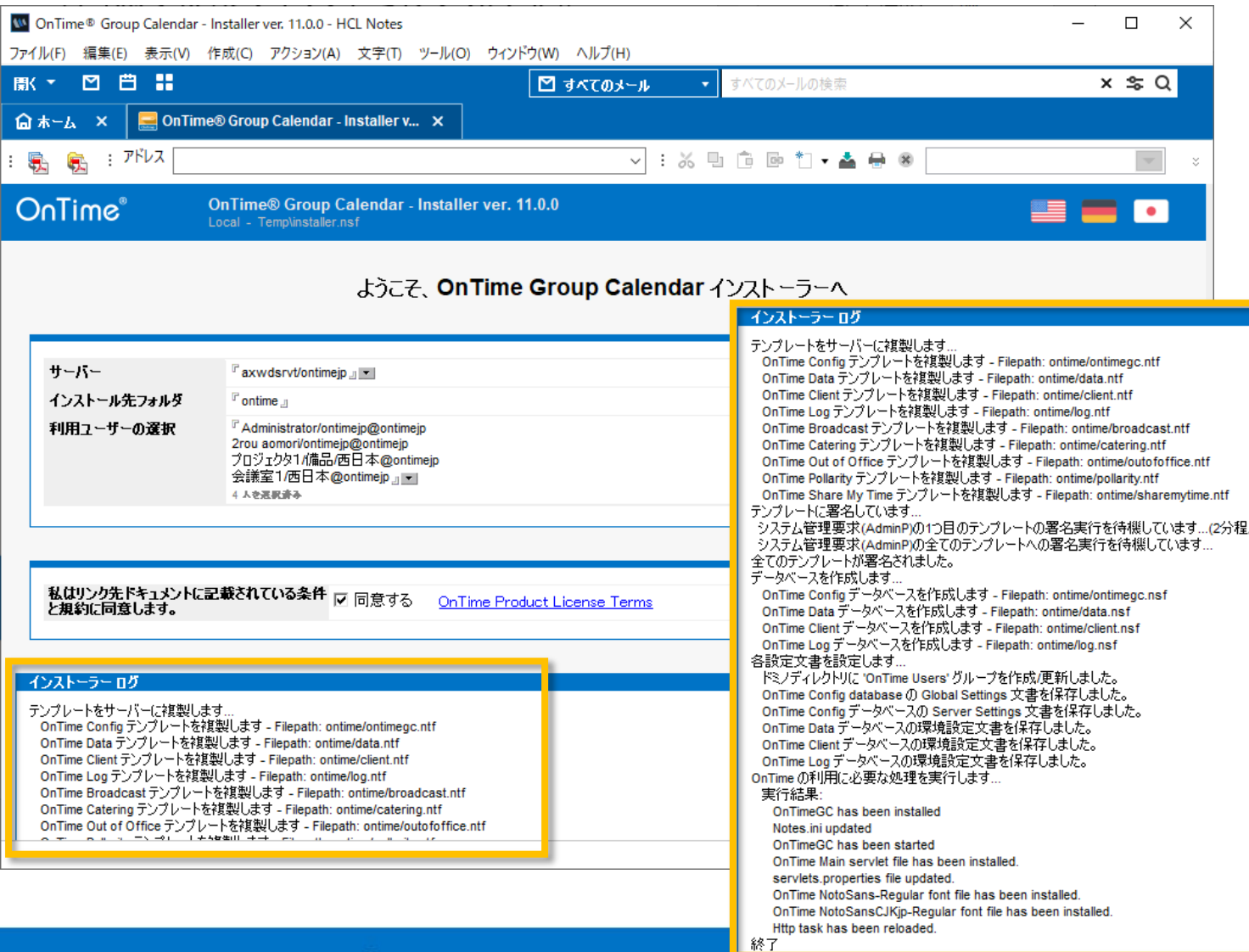


2.5 OnTime のインストールを実行します



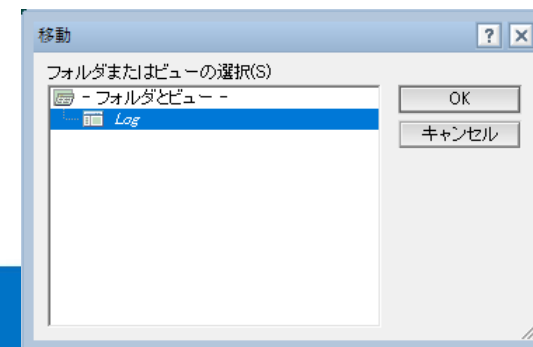
- 「OnTime Product License Terms」リンクの先に記載されている「製品ライセンス条件」に同意する場合、「同意する」にチェックをつけてください。
- 「インストール」をクリックするとOnTimeのインストールが開始します。

2.6 OnTime インストール後の画面を確認します

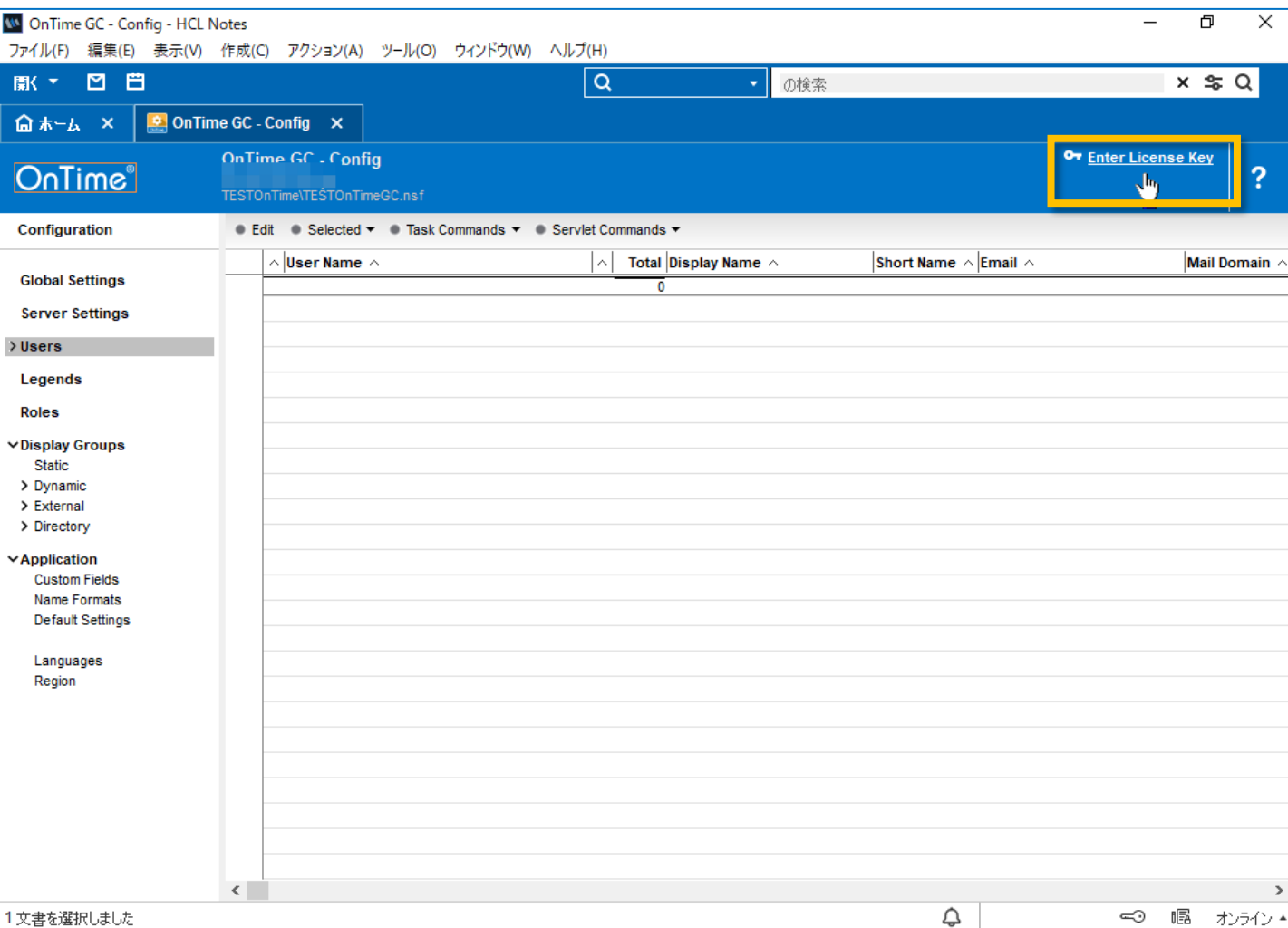


- インストールが終了するとインストーラーログ欄に実行結果が記載されます。
- 正常にインストールできた場合は閉じていただいて大丈夫です。
- 正常にインストールできなかった場合はインストーラーログ欄に情報が記載されています。適切に修正して再度実行してください。

【参考】
閉じてしまった後にログを参照したい場合は、ワークスペースからNotesのメニュー/表示/移動でLogビューから確認してください。



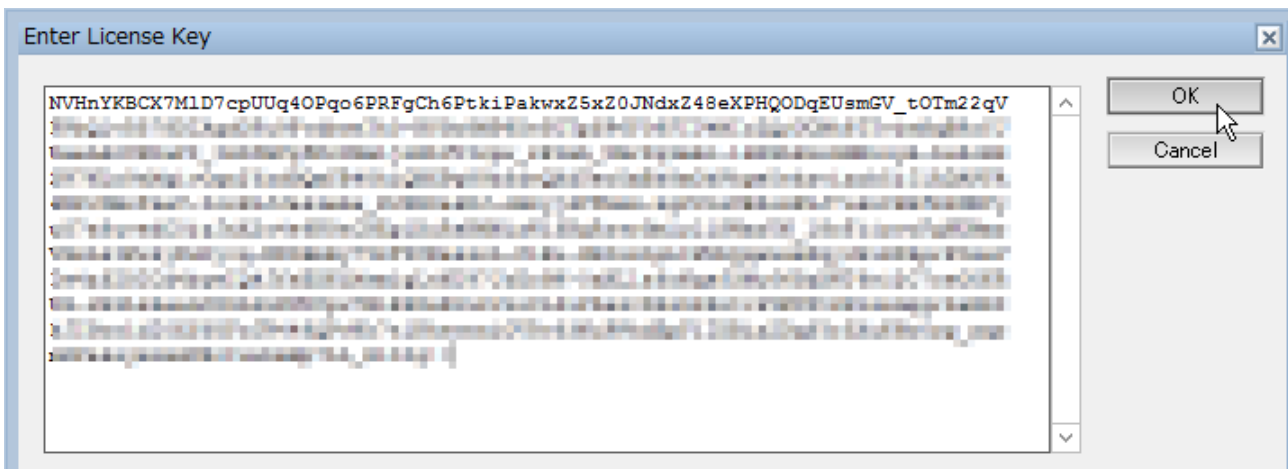
3.1 製品をアクティベーションします 1



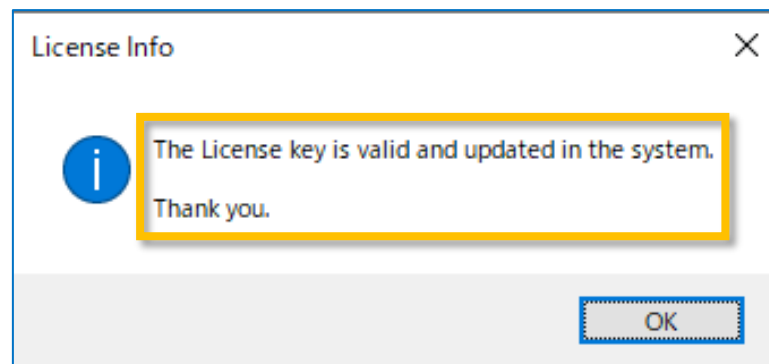
※フリーミアム版レベル1ではアクティベーションキーは必要としないので本作業は不要です

- ConfigDBが問題なく作成できたら左図のようにDBが開きます
- 先に製品をアクティベーションします
(試用版の場合もこちらからトライアルキーを登録します)
- 右上の「Enter License Key」をクリックします

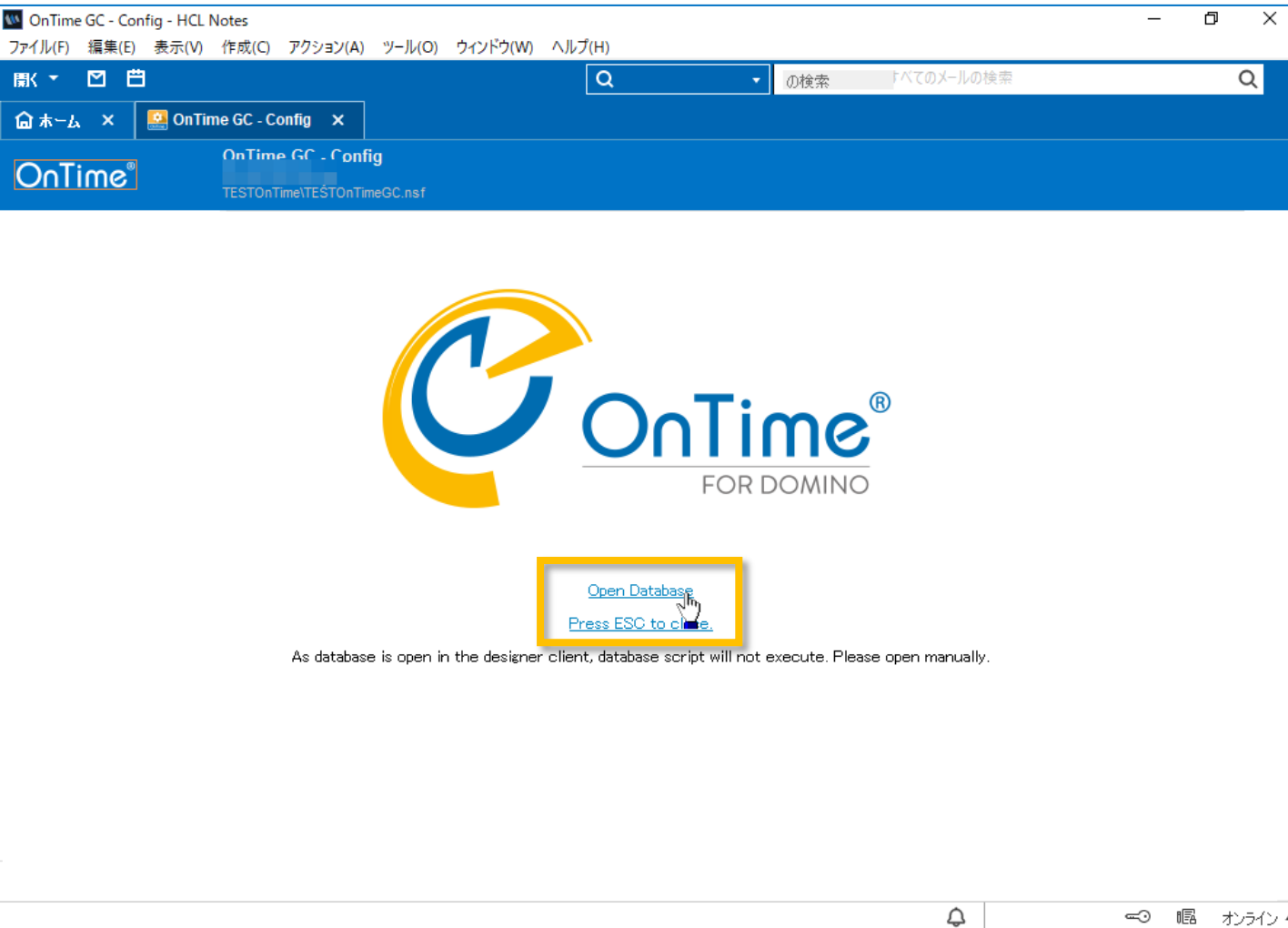
3.1 製品をアクティベーションします 2



- キー登録画面が開いたら予め取得したキーを貼り付けます
- 改行や空白は無視されます
- 貼り付けが完了したら「OK」ボタンをクリックします
- 正しいキーの場合は右下のダイアログメッセージと同じ内容が表示されます
- 違うメッセージが表示された場合はキーが正常ではありません
作業をストップして購入先か
shop@ontimesuite.jpかにご相談ください

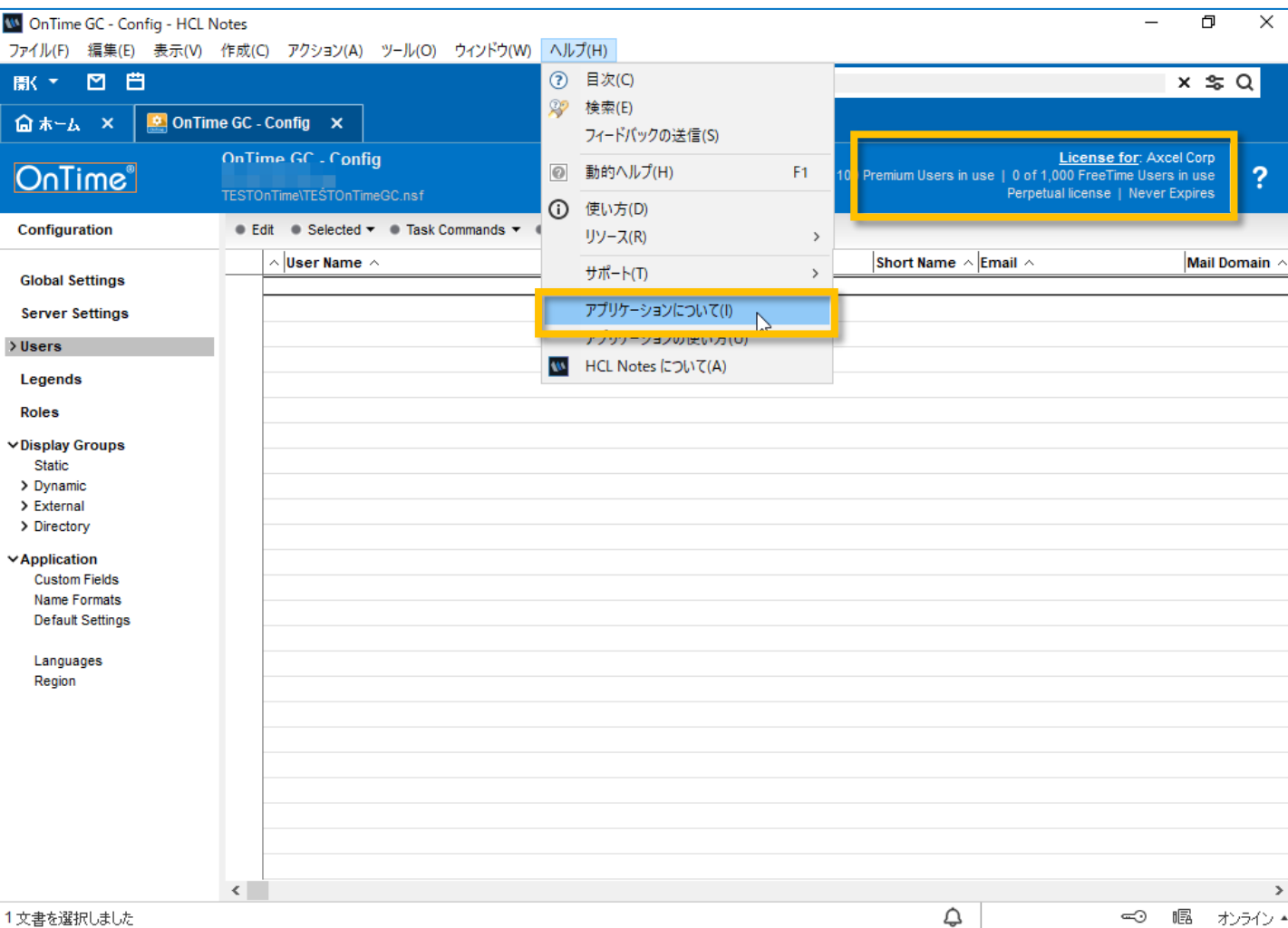


3.1 製品をアクティベーションします 3



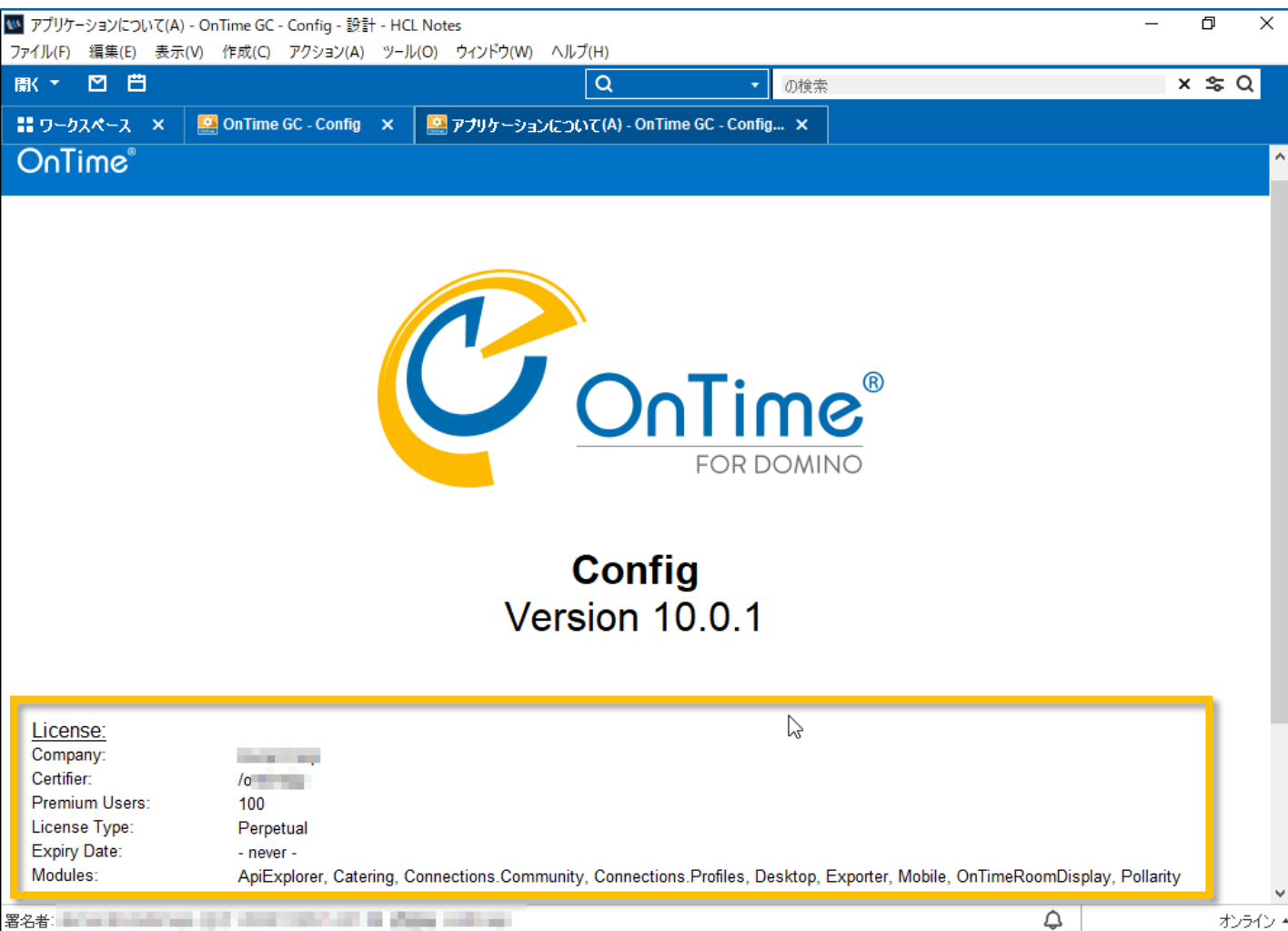
- ダイアログメッセージで「OK」をクリックするとConfigDBは左図の画面に切り替わります
- 改めて「Open Database」をクリックしてConfigDBを開きます

3.1 製品をアクティベーションします 4



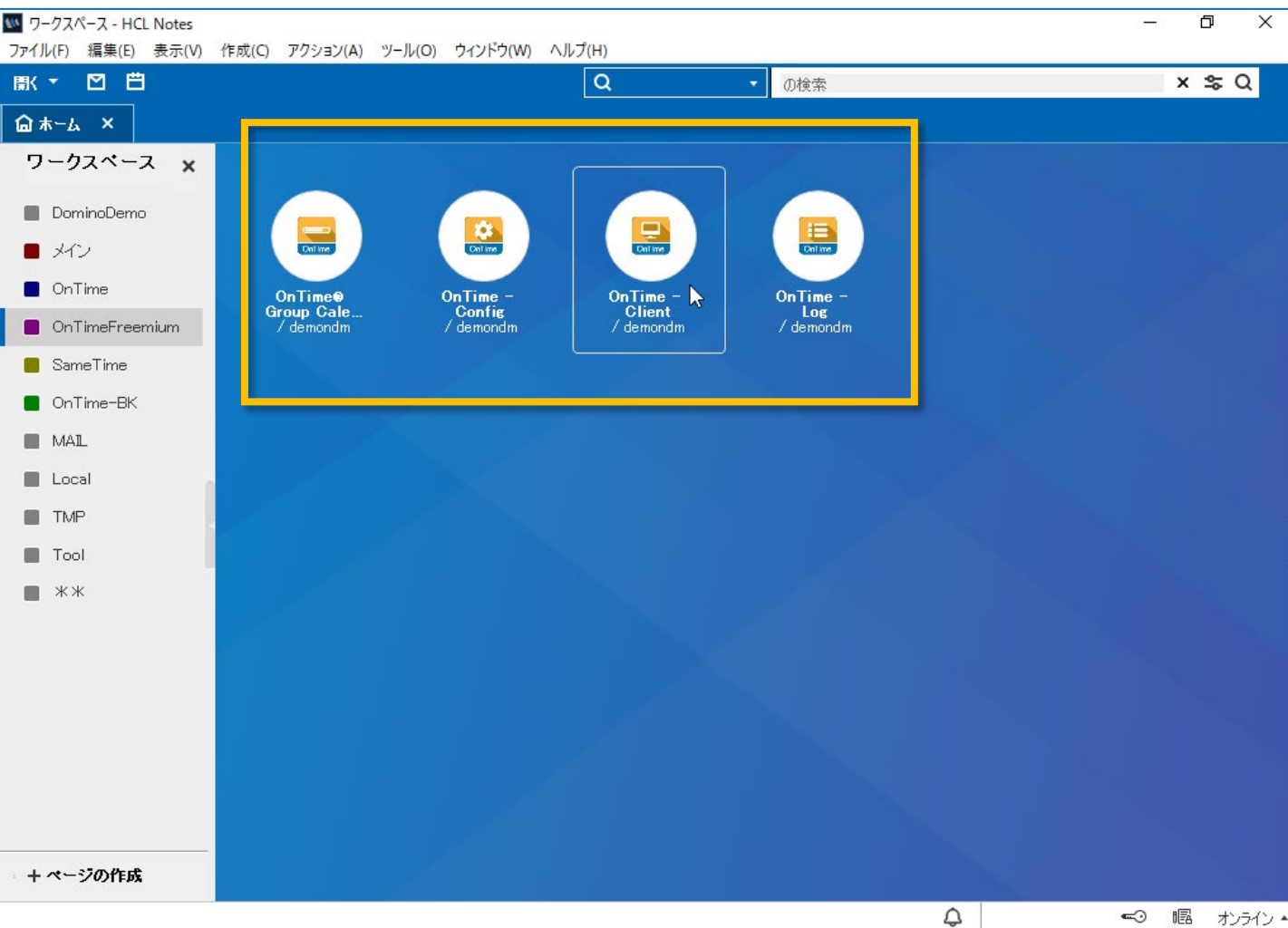
- 画面右上にはライセンスの簡易情報が表示されるようになります
- 更にライセンスの詳細情報を確認する場合はメニューから「ヘルプ/アプリケーションについて」を開きます

3.1 製品をアクティベーションします 5



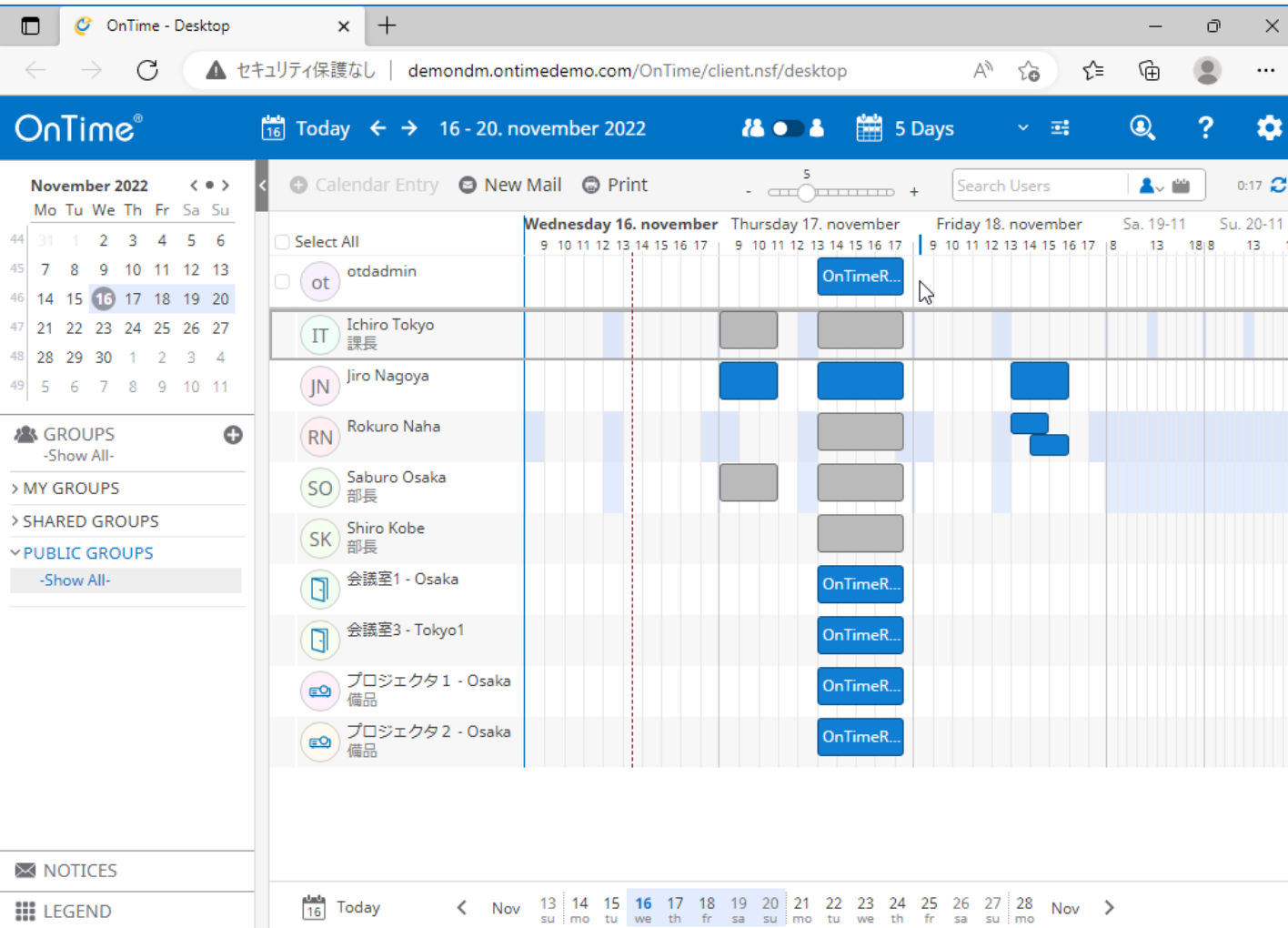
- 画面を下にスクロールしてライセンスの状況を確認できます
- 確認できるのは以下の通りです
 - 社名
 - Notes認証名
 - 保有数量
 - 使用期限（トライアルなど）
 - 保有するモジュール
- オプション製品を追加購入した場合もこちらにモジュール名として表示されます
- 確認が完了すればページを閉じます

4.1 ワークスペースにアイコンが表示されます



- Notesクライアントのワークスペース上に、いくつかのOnTimeアイコンが表示されます。
- OnTime – Client のNotesアイコンをダブルクリックすると、OnTimeクライアントが開きます。

4.2 OnTimeクライアントを開きます



- アイコンのダブルクリックでOnTimeクライアントが開きます。

※各種設定を行う場合はまずは「管理者マニュアル」を参照してください。

※特に日本語表記への変更は「日本語に関する各種設定マニュアル」を参照してください。

- <https://ontimesuite.jp/fordomino/downloads/#gc-manual>



4.3 その他各種設定も行ってください

- OnTimeは皆さまの組織のご要望にできるだけ添えるよう様々な設定がございます
- 他の詳細設定は管理者マニュアルに基づいて行ってください
- その他にもShopサイトには右記のように各種マニュアル（内容によってはステップバイステップ）で準備しています
- また、新バージョン毎の主な新しい機能はリリースノートに記載していますのでFAQサイトも合わせてご覧ください

■ 管理者マニュアル

- 主にConfigDBの各種設定について解説しています。

■ 日本語に関する各種設定マニュアル (Step by Step)

- お名前や各種表示内容などを日本語化する最短距離となる手順書です。

■ DisplayGroups(表示グループ)設定マニュアル (Step by Step)

- OnTimeではメインビューに表示するメンバーのセットを表示グループと呼んでいます。
- 組織階層的に表示する方法などをご案内しています。

■ Roles(権限)設定マニュアル (Step by Step)

- 他ユーザーの予定に対する権限を付与する方法の手順書です。
- 秘書職の代理権限設定や部下の予定の閲覧権限などの設定方法です。

■ Legends(凡例)設定マニュアル (Step by Step)

- メインビューで予定を各種条件で色分けして表示する設定方法の手順書です。

■ Online Meeting設定マニュアル

- Microsoft Teams、Zoom、Webexの予約同時作成機能の設定方法の手順書です。

■ 不在通知ワークフロー 共有席 管理者マニュアル

- 休暇や出張などオフィスを不在することを関係者に通知する簡易ワークフロー及びフリーアドレスなどオフィスのデスクを予約できる機能を実装する手順書です。

■ Exchangeハイブリッド設定マニュアル

- Exchangeのメールボックスのスケジュールを統合利用する機能の実装手順書です。